

# 平成26年度 阿賀野市算数部 活動報告

部長 桐生 真紀子

1 研究主題 「思考力・判断力・表現力を育てる算数の授業」

2 研究の概要

4月22日（火）第1回部会 組織の構成、研究主題・事業計画の作成

6月10日（火）第2回部会 研修会

講師 阿賀野市立神山小学校 校長 小海 信幸 様

11月25日（火）第3回部会 研修会

「算数教科書の改訂のポイント・活用法」

講師 新興出版社啓林館 高橋 雄志 様

3 研究の実際

(1) 研修会「思考力・判断力・表現力を育てる算数の授業」

① 算数の楽しさ

解けそうで解けないものが解けたとき（アハ体験）が楽しいと感じる。

② 何を考えさせるのか

「教えたこと」を「考えさせる」。アニメーションなどを使って効果的に教える。

③ 教えて考えさせる授業

授業スタイル・課題設定・教材・教具の工夫を考える。

④ 演習「思考力・表現力を高める授業」の構想

導入問題（教えること）と追求問題（考えさせること）、まとめの流れで、授業を構想する。

(2) 研修会「算数教科書の改訂のポイント・活用法」

① 改訂のポイント

・ 「子どもが主体的に使いこなせる教科書」を目指して改訂した。ユニバーサルデザインの視点から、学習のめあてとまとめを新設した。

・ 表現力の育成のため、2年生以降の巻末資料集に「わかりやすくせつめいしよう」のコーナーを新設した。

② 教科書の活用法

・ 現行の教科書と同じく、□問題→△問題→○問題の流れで学習を進めることが基本である。

□問題：基礎・基本の定着を図る問題

△問題：思考力を育成する問題

○問題：個に応じて、つまづきを解消したり定着を図ったりする問題

4 成果と課題

6月の研修会では、「教えて（導入問題）」「考えさせる（追求問題）」ために、どんな問題を作ればよいのかを考えた。よい問題を作るためには、いくつかの教科書を比べ、その違いをとらえるなどの方法で教材研究をするとよいことを指導していただいた。11月の研究会では、算数の教科書の活用法を学んだ。来年度は、研修会で学んだことを生かして授業改善を進め、子どもたちの思考力・判断力・表現力を育んでいきたい。

